

まあ、お茶でも飲みながら VIII : 初めてののような気持ちで

平田, 直子
九州大学情報基盤センターシステム運用掛

<https://doi.org/10.15017/1470376>

出版情報 : 九州大学情報基盤センター広報 : 全国共同利用版. 1 (1), pp.31-37, 2001-03. 九州大学情報基盤センター
バージョン :
権利関係 :



まあ、お茶でも飲みながら Ⅷ —— 初めてのよな気持ちで ——

九州大学情報基盤センター システム運用掛
平田 直子

ご挨拶が遅れましたが・・・

「21世紀の幕開けです」という言葉が飛び交っている時期も過ぎ、落ち着きを取り戻した頃。やっとやっとみなさまに新しい情報基盤センターをご紹介します。旧大型計算機センター広報の時から軟弱なこのコーナーを読んで下さっていた方も、今はじめて目を通される方も、ここで仕切りなおしとして当センターの利用方法を再確認してみませんか？

ちょっと伺ってみただけの異邦人

おや？ちょうど留学生のジョニー君が、情報基盤センターを利用したいとやってきました。しばらく様子を見てみましょう。

ジョニー(以降J)：すみませーん。私ジョニーといいます。センターのコンピュータ使いたいです。

スタッフ(以降S)：おや。学部学生さん？

＜＜ 説明しよう1 ＞＞

学部学生諸君の利用については授業やホームページで紹介していますので、そちらを参照してください。

教育用計算機システムのページ <http://www.cse.cc.kyushu-u.ac.jp/>

J：ちがいます。△△研究室の院生です。プログラミングについては知っています。でも、ここの使い方がわかりません。どうやったら使えるですか？

S：研究用のシステムを使いたいんですね。書類を書いて提出しましたか？

J：しよるい？いいえ、なーんにも。

S：ここで研究用のコンピュータを使うには、まず登録番号が必要になります。この登録番号というのは、共通利用番号制というものに則って交付されます。

J：きょーつーりようばんごー？

S：はい。一人の利用者が同じ登録番号で、全国の8つのセンターを利用する事ができるんですよ。まず主に使うセンターを「所属センター」として登録しておいて、その所属センターのシステムから他のセンターへの利用申請をするんです。この場合、所属センター以外のセンターを「第二センター」と言います。

＜＜ 説明しよう2 ＞＞

九州大学情報基盤センター以外の7つのセンターとは、北海道大学・東北大学・名古屋大学・京都大学のそれぞれの大型計算機センター、東京大学情報基盤センター、大阪大学サイバーメディアセンター、及び国立情報学研究所（旧学術情報センター）のことです。第二センターの登録方法は、所属するセンターによって違います。ちなみに九大の情報基盤センターを所属センターとした場合は、オンライン上のコマンド sinsei で申請することができます。

sinseiコマンド使用法 <http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/scp/users/riyou3.html>

J : なるほど。では申請の紙をください。

(申請書を渡すスタッフ)

J : おや?これにはボクの他に2人の名前を書きますね。誰の名前がいいですか?

S : それは支払責任者と経理責任者の欄のことですね。支払責任者というのは、該当する研究の予算を把握できて支払にも責任がとれる人のことです。ジョニーさんの担当教官はどなたです?

J : ドクターオニガワラです。怖いけど優しい酒好きな51才のジェントルマンです。最近の悩みはジョシコーセーの娘に、変な虫がついたことで一す。

S : ・ ・ ・ えーっと書類にはそこまで書かなくてもいいですからね (汗)。では鬼瓦先生と話し合って、その欄に先生の名前を書いてもらってください。先生の印鑑を押してもらってくださいね。

J : ここにある「しはらいひもく」って何ですか?

S : 予算区分の支払費目についても、鬼瓦先生がご存じのはずですから聞いてみてください。

<< 説明しよう3 >>

予算区分の支払費目には(1)国立学校校費、(2)研究所校費、(3)附属病院校費、(4)産学連携等研究費、(5)公立学校経費、(6)私立学校経費、(7)文部科学省科学研究費、(8)その他、等があります。詳しくは共同利用掛(連絡先は<<説明しよう5>>)へ。

S : 経理責任者は予算執行責任のある事務担当者のことです。ジョニーさんの研究室を受け持っている事務の責任者ということですね。例えば事務長とか経理課長とか、会計掛長ですね。

J : ふーむ。これもドクターオニガワラと相談した方がいいですね。

S : そうですね。その方が間違いないでしょう。その経理責任者にも印鑑を押してもらってください。

J : 利用したらお金がかかりますね。そのお金はいつ払えばいいですか?

S : 毎月の月末で一旦締め切って処理しますが、ユーザーの方へ実際に請求するのは3ヶ月に1回です。基本的に。

J : 「基本的に」ということは、そじゃない時もありますか?

S : そじゃない時もあるんですよ、これが。

<< 説明しよう4 >>

4月から6月末までの分を7月に、7月から9月末までの分を10月に請求し、その後も同じように3ヶ月分ずつ、1月と4月に請求します。ただし注意して欲しいことがあります。支払費目が科学研究費と産学連携等研究費の場合は、4月から9月末までの分を一まとまりで10月に請求します。つまり年度初回の請求は、予算が確定してから行うということですね。また計算機利用の最終締切が、この2費目だけ(平成12年度は)2月11日までとなっています。よって2月中旬に年度最後の請求があります。他の費目の最終期限日は、基本的に年度末まで任意の日付を指定できます。このように年度末は費目によって請求される時期に違いがありますので、充分注意してくださいね。

J : ボクのポケットマネーを払ったらいけませんか?クレジットカードもありますけど。

S : (心の声『おお、ゴールドカード!実は金持ちなのか?』) ・ ・ ・ ゴホゴホ。残念ですが、ここの利用負担金は店でモノを買うように払うことはできないんですよ。当センターは国の機関ですから、お上の取り決めがいろいろあるんです。

J : オカミ?ウルフ?

S :それは狼。

<< 説明しよう5 >>

と言うわけで、申請用紙を渡されたジョニー君は自分の研究室に帰って指導教官こと鬼瓦先生と相談し、書類に記入して無事に共同利用掛に提出しました。提出は当センター5階の共同利用掛窓口に提出、もしくは学内便・郵送でもOKです。しばらくすると折り返し承認書が届きます。

センター利用の手続きページ <http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/scp/users/riyou1.html#sikaku>
共同利用掛連絡先 電話 : 092-642-2305
E-mail : kyodo@cc.kyushu-u.ac.jp

秘密とお金の話

後日、ジョニー君が承認書を片手にセンターへ再びやってきました。

J : こんにちは、このまえはドウモです。IDもらいました。すぐ使いたいですね。

S : はいはい。で、何をどうしたいのですか？

J : システム、何がありますか？

S : 研究用計算機のシステムは、ベクトル並列型スーパーコンピュータ FUJITSU VPP5000/64 と汎用UNIXサーバの FUJITSU GP7000F/900 があって、VPP5000/64 はFUJITSU UXP/V、GP7000F/900 はSolaris 7のオペレーティングシステムが動作しています。どちらもUNIX系のオペレーティングシステムです。

J : ほう。

S : システムやソフトウェア、ライブラリ等、詳しくはこの広報に掲載されている他の解説書を読んで下さいね、読者の皆さん。

J : ん？あなた、誰に向かって話してますか？

S : いえいえ、なんでもないですよ。ははは、こっちの話。ではちょっと承認書を見せてください。

(ガサゴソと承認書を広げるジョニー君)

S : ここの登録番号a79999aというのがジョニーさんのIDです。承認書右側にある「留意事項」もよく読んで下さい。

<< 説明しよう6 >>

おわかりだと思いますがa79999aとは、あくまでジョニー君のIDの例です。しかし英数字7桁で最初に必ずアルファベットがつく、というのは決まりです。ちなみに当センターを所属センターにした場合、2桁目(数字列の1桁目)は地区番号を表す7に必ずなりますよ。

計算機利用承認書(継続用)

平成 13 年 2 月 19 日

講習会 90A 殿

平812-8581
福岡市東区南崎6-10-1

九州大学
情報基盤センター

講習会 90A 殿 (7001)

貴殿の申請について下記のとおり承認します。

九州大学情報基盤センター長

松尾文雄

長セ情報九
ン州
之ヲ基大
印!盤学

登録番号	a70090a	申請区分	継続
利氏名	コウシロウイ 講習会 90A	職名・身分	技術職員
用連絡先	九州大学 情報基盤センター 812-8581福岡市東区南崎6-10-1		
名所	九州大学 情報基盤センター		
電話	092-642-2305()	広報	不要
利用見込額	100,000 円	研究分野コード	999
利用期限	平成 14 年 3 月 31 日	連絡所番号	7001
支払責任者番号	U70001A	支払費目	国立学校校費
氏名	マツオ ラミヒロ 松尾 文雄	職名・身分	教授
名所	九州大学 情報基盤センター		
経理責任者番号	V70200A	職名・身分	会計課長
名所	九州大学 情報基盤センター		
パスワードの初期値 a92a4141 (継続の場合、パスワードは平成12年度と同じです。)			

お 願 い

九大センターを所属センターとしている方で、上記申請内容に誤りがある場合は、利用承認書
受領後ただちに共同利用課に御連絡ください。(※)

TEL (092) 642-2305 (ダイヤルイン)

留 意 事 項

1. 学術研究目的以外での計算機利用は原則として禁止されています。
2. 他のセンターを第二センターとして、平成13年度も引き続き利用を希望される方は、次の期限までに kyu-cc の「sinsei」コマンドで継続を行ってください。
※ 東大センター継続申請 2月16日(金)まで
※ 東大センター以外の第二センター継続申請 3月21日(水)まで
なお、詳細はセンターニュースNo. 10をご覧ください。
また、本センターに継続申請を行うと、kyu-cc、kyu-vpp、wisdom、kyu-x2及びkyu-ccの「tourroku」コマンドで登録したWSが継続されます。
パスワードは引き続き前年度と同じですが、あなれの場合は共同利用課まで御連絡ください。この承認書のパスワードの初期値に変更します。パスワードは「password」コマンドで変更できますので、初期パスワードは早い時期にユーザ固有のパスワードに変更してください。
パスワードは6文字以上8文字以内の英字(数字が記号最低1文字含む)で指定します。入力は英文字・小文字の区別にご注意してください。
3. 第二センターへの新規・追加申請は、kyu-ccの「sinsei」コマンドにより、利用者自身で行ってください。
4. 国立学校校費、公・私立学校校費及び文部省科学研究費以外の経費による利用は、各センターによって受入れ基準が異なりますので、申請前に当該センターへ問い合わせください。
5. 所属センターでの利用見込額は、第二センターの利用見込額を含めた総額です。したがって、第二センターの利用申請をした場合、所属センターの利用見込額が差し引かれた額となります。
6. 九大センターでは、利用種が利用見込額を超えた場合、国立学校校費、公・私立学校校費は警告、それ以外の支払費目及び国立学校校費、公・私立学校校費で打ち切りを希望された方は、打ち切りの措置がとられます。ただし、打ち切りの場合は、打ち切りの措置がとられた月の翌月8日にはすべてのファイルは消去されます。
7. 複数の登録番号を必要とする場合は、追加申請を行ってください。追加申請による登録番号は、利用者番号(登録番号の1~6桁)に新しい支払コード(7桁目の英数字)を付加したものです。たとえば a79999a のとき、追加申請すれば a79999b、a79999k 等の登録番号が発行されます。
8. 計算機に login する際には、支払コードを含んだ7桁の登録番号を指定してください。
9. 利用に関する詳細は、センターホームページをご覧ください。
<http://www.cc.kyushu-u.ac.jp>
10. 登録内容に変更が生じた場合は、変更手続きが必要です。ただちに共同利用課に御連絡ください。

(※)現在、電話番号以外の変更ができません。4月以降、改めて変更した承認書を見たいします。

↑これが承認書だっ!

実際にはこれが利用者に送られ、支払責任者には「支払責任者登録通知書」が届きます。

S : システムにアクセスするためにはパスワードが必要ですよね。この承認書の一番下に「パスワードの初期値」とありますが、これがジョニーさんの初期パスワードです。

J : デフォルトパスワードですね。

S : そうです。一番最初にアクセスするときに必要になります。しかーし!!

J : い、いえす?

S : ログインしたらすぐにこのパスワードの変更をしてください。いや、しなさい。するんだ。しろ。

J : ... なんだか怖いです。

S : おっと失礼。この初期パスワードとはあくまで仮のパスワードです。でもこんなにあからさまに承認書に印刷してあったら、それを見た人にバレバレですね。みなさんの利用が承認された時点で、自動的に次の3つのホストが利用可能になっています。

1. スーパーコンピュータ (ホスト名: kyu-vpp)
2. 汎用 UNIX サーバ (ホスト名: kyu-cc)
3. 端末サーバ (ホスト名: wisdom)

これらには同じ初期パスワードで登録されているので、必ずパスワードを変更

してください。バレバレのパスワードをいつまでも使っていたら、セキュリティ上とても危ないんです。

J : イエース。

S : そこで初めてログインした時、一番最初にパスワードの変更をしてもらいたいわけですよ。これは汎用システム (kyu-cc) に入って passwd というコマンドをたくさんで簡単にできます。

<< 説明しよう7 >>

passwd コマンドの使い方

kyu-cc% passwd

passwd: Changing password for a79999a

Enter login password: ~~~~~

←今のパスワードを入力

New password: ~~~~~

←新しいパスワードを入力

Re-enter new password: ~~~~~

←新パスワードをもう一回入力

passwd (SYSTEM): passwd successfully changed for a79999a

S : パスワードの変更の他に、あと一つ大事なことがあります。

J : ホワッツ？

S : 前に支払費目の話をしましたね。

J : はい、しました。お上の取り決めでボクの財布からは払えない、と言われましたよ。

S : そこでジョニーさん。何がいくらするか知っていますか？

J : 何がいくら？軍艦巻の寿司ネタですか？それともタラちゃんの友達ですか？

S : うーむ。確かにどっちもいくらですけどね・・・ってことじゃなくてハウマツチってことです。

J : Oh ! すみません。システム使用料の話ですねー。実は知らないです。でも大切なことです。

S : そうです。予算オーバーしても自分の懐が痛まないからといって、何にも考えないで利用してはいけません。自分の利用額がどれくらいか利用者自身が是非把握していて欲しいものです。

J : あんまり沢山の請求きたら、ボクはドクターオニガワラに叱られます。

S : 叱られるだけならいいですけど、先生の逆鱗に触れて強制国外退去とか・・・。

J : Oh ! No ! それは困ります！ボクはもっと日本で勉強しなきゃならないです！！今帰るわけにはいかないから、お金ハアクします。頑張ります（鼻息）。

S : ちょっと脅しすぎましたかね。まあ、そこまでないと思いますよ。たぶん・・・そこでまず始めに皆さんに知っていただきたいことは「基本負担金」の存在です。基本の負担金というくらいですので、登録しただけで月に500円課金されます。

J : おお。何もプログラムをサブミットしなくて1ヶ月過ぎても500円は必要ですか？

S : そういことです。この制度は今年度（平成12年4月）から導入しています。基本負担金にはこれまで有料だった端末接続負担金、端末サーバの演算負担金が含まれていると考えてください。

J : もし、ワタシがなーんにも使わずに登録だけで一年間過ぎたら500円×12ヶ月で6000円ですか？

S : その他に調整もありますから、最低でもその金額は用意して下さいということです。他の負担金についても気をつけてくださいね。負担金の自己確認コマンドには charge などがあります。しかし最終的な負担金額は月末締め作業で決まりますのでオンラインで見た金額から少し修正されるかもしれません。

<< 参考にしよう8 >>

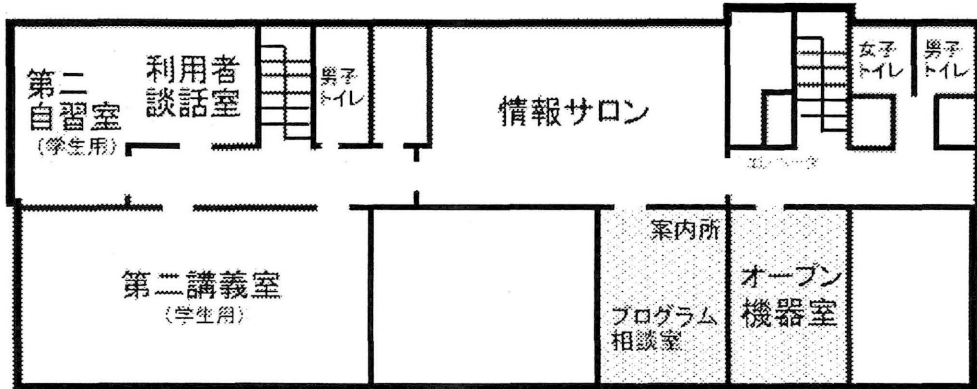
負担金表のページ
負担金確認の方法

<http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/scp/service/futankinhyo.html>
<http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/scp/service/charge.html>

君の行く道は

S : こんなところで立ち話でもなんですから早速利用してみませんか？ さあ、2階に行きましょう。

九州大学情報基盤センター2階



J : おおお？ こちらの部屋にはヤングメンがいっぱいいますね。

S : ここは「情報サロン」というパソコンを自由に使える部屋です。多くは学部学生の利用ですが、学生じゃない方も使用できますよ。ユーザー認証が必要ですので、情報サロン内のパソコンを利用する時はサロン内のカウンターに申し出てください。

研究用システムのユーザーが入室して利用するのは、主に2階の「オープン機器室」です。現在はネットワーク環境が整ってきて、センターまでわざわざ足を運んで利用するより、ネットを通じて利用される方が圧倒的に多いので、ここに来るユーザーはそんなに多くはないのですが……。オープン機器室には特色のあるソフトの入ったワークステーションやメディア変換ワークステーション、カット紙プリンタなどがあります。お手持ちのノート型パソコンを持ち込んで使える情報コンセントも用意していますよ。

<< 説明しよう9 >>

オープン機器室の説明 <http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/scp/service/open.html>

オープン機器室は時間内なら自由にお使いください。ただし情報コンセントの初回利用時は、ユーザーの利用管理のために申込書の提出をお願いしています。これは提出した年度内有効です。具体的な接続方法は、その場に説明書を添えていますので、それを参照してください。申込書の受け渡し等は情報サロン内の案内カウンターに問い合わせてください。

J : 問い合わせは、そのカウンターにすればGoodですね。

S : 紙切れ等の簡単な内容ならそこでいいですが、プログラムの内容やソフトの使い方については、センターのメールアドレス宛にメールを送ってください。

<< 説明しよう10 >>

メールアドレスはこちらです→ request@cc.kyushu-u.ac.jp

担当のスタッフが親切な(!)返答を送ります。もちろん直接センターに来て質問するというのもよいですが、いきなり来られても担当者が不在だったり、その質問に回答するためには調査が必要だったりするかもしれません。できるだけ電話かメールでご連絡していただければ助かります。はい。

J : ボクはひとまず、このオープン機器室のX端末を使うことにします。ところでセンターがオープンしている時間が知りたいです。

S : 通常は月から金までの午前9時から午後9時まで開いています。水曜日午前中は計算機などの保守がありますので12時半からのオープンになります。

ネットワークを介してセンターのコンピュータに接続するのは原則として24時間OKですが、これもやはり水曜の午前中の保守時間はサービスが停止しますから、センターからのお知らせメールやホームページなどをこまめにチェックしてくださいね。

J : わかりました。これでワタシもなんとか使えそうです。でも少し不安です。なにか助けてくれるものがありますか？

S : そうですね。今まで質問の多かったものを集めたQ&A集がホームページにありますよ。URLはここです。→ <http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/scp/users/faq/qa.html>

J : サンキュー。ありがとうございます。これからワタシもバシバシ使ってバシバシ研究しますよー。

S : 頑張ってくださいね。では読者の皆さんも基本を再確認したところで、さようなら。お後がよろしいようで・・・

J : はい、皆さんさようなら・・・って、だからあなた誰に向かって話してますか？

<< 参考にしよう11 >>

研究用計算機システムのページ <http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/scp/>

(おわり)